

みほとけ

〒339-0008 さいたま市岩槻区表慈恩寺990

TEL 048-794-1759

FAX 048-794-3388

E-mail jyougenji@hotmail.com

常源寺と檀信徒をつなぐ

備えあれば憂いなし

7月下旬から8月中旬にかけて開催されたパリオリンピックでは、日本人選手の活躍が連日報道され、アスリートたちの真剣な姿は私たちに多くの感動を与えてくれました。そんな中、金メダルを獲得した日本人選手の一人が、試合後のインタビューで「3年前の東京オリンピックから金メダルをとるための準備をしてきたのが実って良かった」と話しているのを目にしました。オリンピックの試合という一瞬のためだけに、それまで多くの時間をかけて練習に打ち込み、入念な準備をしてきたその努力に対して心から敬意を表したいと思います。

一方、8月8日には日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生し、気象庁から南海トラフ地震臨時情報が発表されました。また、8月下旬には非常に強い勢力をもった台風10号が日本列島に上陸し、多くの被害をもたらしました。私たちは、いつ起こるか分からない自然災害の恐ろしさを改めて実感させられました。昔から「備えあれば憂いなし」という言葉がありますが、中国の宋の時代の仏教徒である王日休という人物が、「昼には必ず夜がある。どうして夜の備えをしない人があろうか。暑には必ず寒がある。どうして寒の備えをしない人があろうか。」という言葉を残しています。王日休は、昼のうちから夜の準備をしておきなさい、暑いときも必ず来る寒さへの対策を怠らないようにしなさいと述べ、来るべき時のために備えをしておくことが必要不可欠であることを説いています。まさに「備えあれば憂いなし」です。

今年の夏は、オリンピックでの日本人選手の活躍、そして、頻発する自然災害を通して、いざという時のために日頃から準備をしておくことの大切さに改めて気付かされました。



■ 暮らしの中の仏教用語

有り難い（ありがたい）

「ありがとう」は、感謝の心やお礼の気持ちを表す日常語として広く定着しています。

曹洞宗を開かれた道元禅師のお言葉に「人身にんしん得ることがた難し。仏法ぶつぽう値うことお希なり。」というものがあります。人間として生まれることや、仏の教えにめぐり合うことは決して簡単なことではない」という意味であり、まさに「有り難い」ことだと述べられています。

「有り難い」は文字通り、有るのが困難、めったにない、珍しいという意味です。そこから転じて、貴重である、もったいない、畏れ多いという感謝の気持ちを表す言葉になりました。

どんなときでも、誰に対しても「ありがとう」と言えるようになりたいものです。

◇ 仏教なんでもQ&A ◇

Q 般若心経ってどんなお経ですか？

A 般若心経は、曹洞宗だけに限らず他の宗派でも広く読まれている仏教において最も有名なお経の一つで、正式には「般若波羅蜜多心経はんにゃしんきょう」といいます。仏教の根本的な考え方が書かれている600巻にもわたる膨大な量の「大般若経だいほんにゃきょう」と呼ばれるお経の最も大切な部分だけを、わずか262文字に集約したものが般若心経であり、言わば仏教の真髓が説かれているお経です。執着を離れることで悩みや苦しみから解放されると説いていることから、写経にも多く用いられています。常源寺では、御法事の際に一番はじめにお唱えさせていただいております。

秋のお彼岸

お彼岸は、四季のある日本が生んだ我が国独自の仏教行事です。日中と夜間の日の長さが同じとなり、暑さや寒さがやわらいで過ごしやすくなる時期に、故人様や御先祖様を供養して感謝をささげる精進期間であると古来より考えられてきました。地域によって多少の違いはありますが、お彼岸には、季節の果物や花、ぼた餅やおはぎ、故人様が生前好きだったものなどをお供えし、お墓参りをするのが一般的な風習です。

お彼岸は、春分および秋分の日を中日として、前後の3日ずつを合わせた各7日間をいいます。今年の秋のお彼岸は、9月19日から25日までです。ぜひ、この期間に御仏壇に茶菓やお花をお供えして御家族でお参りをしましょう。また、御都合の良い日にお墓へもお参りください。当山では、下記のとおり秋季彼岸法要を厳修いたします。皆様の御参列をお待ちしております。

日 時 令和6年9月22日（日）秋分の日 午前10時より

場 所 常源寺本堂

- ◎事前のお申込みや御予約は必要ありません。
- ◎御布施や御志等も不要です。暑さが予想されますので、平服でお越しください。
- ◎御法要は20分程度で終了する予定です。お墓参りに併せての御参列も可能です。

お彼岸の御塔婆供養を受け付けます

御供養料 六尺塔婆／一霊・五千元 五尺塔婆／一霊・三千元
申込方法 電話、FAX、Eメールのいずれかにてお申込みください。
直接御来山いただいても結構です。
申込期限 令和6年9月15日（日）まで

- ◎彼岸法要に御参列いただけない場合、御塔婆のみのお申込みも可能です。その際は、お申込みの際に、御塔婆をお受け取りになりたい希望日をお伝えください。
- ◎遠方の方、御都合が合わずお墓参りができない方は、常源寺境内のお墓に限り、お寺で代わりに御塔婆をお建ていたします。御希望の方は、事前に御相談ください。

盂蘭盆大施食会を厳修しました

8月17日（土）、毎年恒例の盂蘭盆大施食会を厳修いたしました。心配されていた台風7号の影響を受けることもなく、お陰様をもちまして無事に開催することができ、皆様の大切な御先祖様をはじめ、あらゆる精霊に対して御供養をさせていただくことができました。また、今年も近隣の御寺院の御住職様方にも御参列をいただき、盛大かつ厳かに執り行うことができました。

当日は、日中の気温が37度を超える酷暑の中でしたが、土曜日の開催ということもあり、例年以上に多くの方々が御参列くださり、事前に本堂内に用意した100近くの座席がすべてうまってしまいうほどでした。あいにく本堂の外での御参列となってしまった方々には暑い中大変御迷惑と御不便をおかけいたしました。

